

<小難しい学芸員のやさしい小嘘>

## 大阪市内の公園のタヌキ

タヌキは山の動物、田舎の動物のイメージがあるかもしれませんが、が、大都会大阪にもけっこう普通にタヌキがいるよって、話をします。

山間部はもちろん山地に近い地域、緑地の残った丘陵地では、大阪府でもタヌキはとても普通の動物です。市街地にも出てきて、餌をもらったり残飯をあさったりしています。堺市民にとっては、街中にタヌキがいるのは、当たり前（たぶん）。堺市は異様にタヌキが多く、ほぼ全域にタヌキがいます。古墳やため池が多いのが関係あるのかもしれませんが。

こんな具合に、都市化の進んだ大阪府でも、タヌキはとくに珍しい動物ではありません。しかし、大阪平野の中心部、大阪市はどうでしょう？ 淀川や大和川には昔からタヌキの生息が知られていました。でも、それ以外の都心部にタヌキはいるでしょうか？ たぶん10年前に尋ねられたら、大阪市の都心部にタヌキはいませんと答えていたと思います。しかし、その事情はここ数年で大きく変わってきました。

### 大阪市内の公園のタヌキの歴史

最初に大阪市内の公園にタヌキがいる話を聞いたのは、2005年3月のことでした。場所は扇町公園。マスコミからタヌキらしい動物を撮影したので見て欲しいと言われ、見てみると確かにタヌキで驚きました。でも、扇町公園は大幅に工事の手が入り、その後タヌキの話は聞かなくなりました。

2005年秋頃、今度は長居公園にタヌキがいるという噂を聞きました。なんかの見間違いだろうと思っていたのですが、タヌキとおぼしきため糞が見つ



図1：長居植物園で撮影されたタヌキ。これを見て、長居公園にタヌキがいることを納得せざるを得なかった。2007年7月18日、松本史郎学芸員撮影。

ります。でもまだ疑ってました。他の人が見たと言ってるけど、自分ではぜんぜん見られないからです。2007年になって、とうとう否定できない証拠が出てきてしまいました。博物館の裏でタヌキが撮影されたのです（図1）。その後、2009年度には調査が行われ、10頭以上いるらしいことが明らかになりました。ただし、2011年2～3月に立て続けに4頭の死体を回収しました。1、2頭は全身が疥癬にやられ、見るも無惨な姿でした。今後も長居公園のタヌキが無事に暮らしていけるのか心配なところです。

2008年、天王寺公園のタヌキの情報をいただきました。最初は動物園から逃げ出したのではないかと疑われたようですが、檻の中には全員そろっているのに、檻の外にもいることが確認され、どうやら野生のタヌキらしいということになりました。2009年には、大阪城公園でもタヌキが確認されました。

こうなると大阪市内の他の公園にもタヌキがいるんじゃないかと気になります。

### プロジェクトUで都市のタヌキを調べます！

2011年4月から、都市の自然調査プロジェクトが始まりました。哺乳類班の大きなテーマは、市街地の公園に生息するタヌキの分布調査です。

もし、近所の公園にタヌキがいるのを知っていたら、観察日・観察場所に、証拠画像（実物でもため糞（図2）でもかまいません）をそえてぜひお知らせ下さい。また、自分で確認していなくても噂話があれば、調べに行きますので、教えて下さい。

<和田 岳：博物館学芸員>



図2：タヌキのため糞。2009年5月15日、長居植物園。暖かい季節には糞虫の活動が活発で、糞はすぐに分解され、あまり溜まらない。